

# ハリー・パーチの楽器と音楽

## 復元されたパーチのギターが奏でる純正律音楽

2018年12月1日（土）18:40~21:00

東京文化会館中会議室2（東京都台東区上野公園5-45）

講師：クリス・レニエ（作曲家、即興演奏家、ヴィジュアル・アーティスト）



柿沼敏江（京都市立芸術大学音楽学部音楽学教授）

会員無料、非会員 1,000 円

ハリー・パーチ（1900~1974）は、純正律による 43 音階を考案したアメリカの作曲家です。平均律が当然とされていた状況のなかで、自ら制作した楽器に純正律を適用して演奏し、独自の道を貫きました。近年、その音楽に再び注目が集まっています。2013 年に北西ドイツ最大の音楽祭「ルール・トリエンナーレ」で《怒りの妄想》が取り上げられ、ケルンのアンサンブル「ムジークファブリック」、作曲家で演出家のハイナー・ゲッベルスが参加。全ての楽器が新たに制作され、木や竹でつくられた見事な楽器によって奏でられる音は、独自の世界を創り出しました。

講師のクリス・レニエは、ロンドン在住のギター奏者でパーチ研究者。現在、パーチに関する博士論文を執筆しています。パーチの楽器を復元、制作、演奏するほか、オランダのグループ「スコルダトゥール・アンサンブル」のメンバーとしても活動しています。今回は、パーチの楽器と音楽に関するレクチャーとともに、デモンストレーション演奏や楽器に触れる機会もつくります。パーチの音楽をオリジナル楽器で触れる、絶好の機会となるでしょう。

### ◆お問い合わせ

日本アルバン・ベルク協会 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会本館 22 号室

TEL/FAX: 03-6261-0987 [abergg1985@mb.infoweb.ne.jp](mailto:abergg1985@mb.infoweb.ne.jp)